

2010福山ばら祭 親善交流の主な行事

5/14	福山市長表敬訪問	09:30	福山市役所
	エフエムふくやま出演	10:20	エフエムふくやま
	中学校歓迎交歓会	11:30	済美中学校
	福山大学教養講座講演 (トドロフ大使)	15:00	福山大学
15	オープニングセレモニー	10:00	緑町公園・ローズヒル
	歓迎交流会	18:30	福山ニューキャッスルH
16	本通船町商店街交流会	10:00	本通船町商店街
	ローズパレード	12:30	南町・妙法寺前～

トドロフ大使、福山大学で講演

福山大学教養講座

現代世界における ブルガリア

2010年 **5月14日(金)** 15:15～16:15

会場：福山大学大学会館大ホール
一般自由参加（無料）

●エヴァスタティエヴァさんのスピーチ「コンピューター中毒」

私のスピーチを始める前に皆さんに質問が1つあります。皆さんは「コンピューター中毒」について聞いたことがありますか。
先日私は地下鉄に乗っていてとてもびっくりしました。地下鉄の席の両側に3人ずつ向かいあって座っていました。全員が友達のようにでしたが、みんなでノートブックを使って話していました。私はそれを見てこれから世の中はどうなっていくのだろうと思いました。
最近、「コンピューター中毒」が大きな問題になっています。今世界には必要以上にコンピューターを使っている人がたくさんいます。2009年の調査によると5百万人がコンピューター中毒だそうです。
コンピューターは今の生活に必要です。インターネットで速くじょうほうを得ることができるし、すぐ友達にメッセージを書くことができます、とても便利です。私もレポートを書くとき、インターネットでよく調べて書きます。でもインターネットで連絡を取ってばかりいると少しさびしく感じます。
私の友達はずっとゲームをしたり、映画を見たり、新しいプログラムのダウンロードをしたりしています。1日中コンピューターで何かしていて、うちからほとんど出ません。だから友達にはたまにしか会いません。私は友達と会わない時間が長くなりすぎると、とてもさびしく感じます。フェイスブックを使えば、友達とすぐ話せます。でも私は直接友達と会って話すことも大切だと思います。友達に直接会わないと友達が本当に元気かどうかかわからないし、友達の本当の気持ちもわからないかもしれません。友達に直接会えば友達が本当に元気かどうかわかるし、友達の気持ちもよくわかります。そして友達と会うのは楽しいです。友達といっしょに何かをする時間がおもしろいです。心の健康のために友達と会うのは大切だと思います。
また幸せな生活を送るためには、健康も大切です。コンピューターの前にずっといると運動不足になります。目も悪くなって、頭痛くなります。
心も体も健康な幸せな生活するためにはコンピューターを使う時間と家族や友達顔をみて話す時間、体を動かす時間のバランスが大切だと私は思います。このいいバランスがあれば、私たちの生活は便利で、楽しいゆたかなものになるでしょう。

親善交流で来福する二人の

プロフィール

●'09バラの女王
ポリナ・ブラジェヴァさん
Polina Blazheva



1990年生まれ。
カザンラク市在住。
高校卒業後、現在 経済学院大学「D. A. ツェノフ」、スヴィシュトフ市に在籍（社会人入学制度）

●「第16回日本語弁論大会」準優勝者
モニカ・エヴァスタティエヴァさん
Monika Evstatieva



1993年ソフィア生まれ。
「ウィリアム・グラッドストン」東西言語高校の1年生。
語学：英語・ロシア語・日本語
趣味：読書、映画鑑賞、絵画。水泳（母が水泳教師）。

※二人の自己紹介、来日するにあたっての抱負やコメントなど、詳しくは協会HPをご覧ください。（「福山ブルガリア」で検索）

NPO法人
福山ブルガリア協会
FUKUYAMA BULGARIA ASSOCIATION
事務局：〒720-0803 福山市花園町2丁目6-5
TEL050-8029-3006・FAX084-931-0293
発行日：2010年5月1日

<http://www.fba.rgr.jp>

ブルガリア

BULGARIA

България

No.12

トドロフ大使からメッセージ



新任の駐日ブルガリア共和国特命全権大使リュボミル・トドロフ閣下 (His Excellency Mr. Lubomir TODOROV) から福山ブルガリア協会にメッセージが寄せられました。

福山ブルガリア協会の皆様へご挨拶できますことを嬉しく思います。

貴協会は、1997年の設立以来、ブルガリアの文化、歴史、伝統の普及に協力を惜しまない、ブルガリアを愛する方々で構成されています。大使といたしましては、日本とブルガリアの両国関係の更なる発展のため、福山ブルガリア協会と力を合わせ、協力していきたいと考えております。

1994年から薔薇を共通の話題に、ブルガリアのカザンラク市と日本の福山市との間で交流が行われていることを非常に嬉しく思います。毎年、カザンラク市からの薔薇の女王が福山の薔薇祭りに参加させていただくことを光栄に思っています。また、例年、福山ブルガリア協会による薔薇の女王と日本語の弁論大会の優勝者の同協会への受け入れに対して心から感謝を申し上げます。

福山ブルガリア協会は国の未来を担う若い世代の交流を続けるための活動を展開しておられます。ブルガリアの留学生の福山大学への受け入れ、またブルガリアの若い人々が日本への理解を深めるための様々な支援を行って下さいました。一方、創立より現在まで、日本におけるブルガリア紹介、公演を含む、数多くの企画をなさっています。若い世代間で、それぞれの国を語りお互いの理解を深めることで、将来のさらなる交流につながることを祈念いたします。貴協会の会員の皆様のご努力で両国民の交流の機会を作っていただいているおかげで、日本でのブルガリアの愛好者が徐々に増えています。福山ブルガリア協会の皆様に心よりお礼を申し上げます、これまで以上のご活躍を願っております。両国民の交流が薔薇のように美しく花開きますように、でも花と違って散らないで永遠に続きますように。福山ブルガリア協会の益々のご発展と、皆様のご健勝をお祈りいたします。

駐日ブルガリア共和国大使
Dr. リュボミル・トドロフ

佐々木新会長の挨拶



縄稚前会長の後を受け、このほど就任した佐々木新会長の挨拶を紹介します。

2010年の新しい年度を迎え、福山市は「輝く瀬戸内の交流拠点都市、個性豊かなバラのまち福山」を目指して「100万本のバラを市民の手で育てよう」を合い言葉に街づくりを進めております。

恒例の5月の「ばら祭」には海外からバラの女王や駐日大使等の参加を得て国際色豊かに都市イベントが開催されております。こうした中であって、バラの国ブルガリアのカザンラク市と市民交流を始めて13年目を迎えた福山ブルガリア協会は、トドロフ新駐日大使を迎えて、これまでに培った幅広い国際交流のノウハウを活用し、経済界とも連携する中で文化・経済・福祉・教育更には観光・農業において国際交流を展開して参る所存であります。

縄稚会長の後任として微力ではございますがお手伝いさせていただきますので、皆様方の変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

奏でよう、ローズマインド！

福山ブルガリア協会会長
佐々木 重 綱



緑町公園のローズヒルに咲くブルガリアから贈られたダマスクローズ